

第3回 薬事エキスパート研修会
～マイクロドージング等の医薬品開発促進に向けた内外の動向～

主 催 財団法人日本公定書協会

欧米では認められているマイクロドージングと呼ばれる技術が、わが国でも注目されています。候補化学物質を炭素14やポジトロン核種で標識し、その極微量を健康人に単回投与し、その体内動態や体内分布を超高感度の測定機器やPETで追跡するものです。それにより、開発初期の医薬品候補物質が目的とした臓器に到達するかどうかや、体内分布の状況を臨床試験第I相に入る前（フェーズゼロ）に調べて、候補物質の絞り込みをする手段の一つです。

米国では、新薬開発促進のため、クリティカル・パス・インシアティブを開始し、本年1月には探索的INDに関するガイダンスを公表する等、欧米では自国や地域に新薬開発を誘導するための方策が講じられてきています。

欧米で使える手法をわが国でも使えるようにするにはどうすれば良いのか、薬事エキスパート研修の第3回は、この問題を取り上げました。つきましては、このような趣旨にご賛同いただき、多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

【日時及び場所】

日 時	場 所
平成18年12月19日(火) 13:00～17:00	日本薬学会 長井記念ホール 東京都渋谷区渋谷2-12-15 Tel. 03-3406-3326

【研修会演題】 演題，講師，時間は次頁の通りです。

【申込要領】

1.申込方法及び期限

(1)下記振替用紙にてお申し込み下さい。

法人会員：当協会規定の振替用紙使用

個人会員／非会員：

郵便局備えつけの振替用紙使用

振込先：(財)日本公定書協会

振替口座 00190-9-97409

*次の事項を振替用紙の通信欄にご記入の上、受講料をご送金下さい。折り返し聴講券をお送り致します。郵便振替払込金受領証をもって領収証に代えさせていただきます。

*銀行振込、現金送金をご遠慮願います。なお、受講料受領後の払い戻しは致しませんので、予めご了承下さい。

通信欄：必ずご記入下さい。

- | |
|--|
| (1) 会社名、所属
(2) 聴講者名：1枚につき1氏名
(3) 連絡先：郵便番号、住所、電話番号
(4) 「薬事3-MD」の文字 |
|--|

(2)振込期限にご留意下さい。

平成18年12月5日(火)

(申込順、定員に達し次第締切)

2.受講料：テキスト代を含む。

・日本公定書協会法人会員

1名につき 10,000円

(法人会員は1口につき1名が会員扱い)

・個人会員／非会員 1名につき 15,000円

その他

1.問合せ先

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-12-15

財団法人 日本公定書協会

電話 03-3400-5634(代)

03-3400-5644

(薬事エキスパート研修会担当)

2.注意事項

○会員には当協会から規定の振替用紙をお送り致します。振替用紙が会員証となりますので必ず関係部門へお廻し下さい。

○当日、撮影及び録音はご遠慮願います。

○原則として電話、FAXでの受付及び当日受付は致しませんのでご了承下さい。

第3回 薬事エキスパート研修会
～マイクロドージング等の医薬品開発促進に向けた内外の動向～

13:00～13:10 開会挨拶

寺尾 允男
(日本公定書協会会長)

13:10～14:00 マイクロドージングの国際的動向とわが国への導入に向けた提言
馬屋原宏 (国際医薬品臨床開発研究所理事)

14:00～14:50 欧米における新薬開発推進のための動きとわが国の改善への提言
杉山雄一(東京大学大学院薬学系研究科教授)

14:50～15:10 休 憩

15:10～16:00 マイクロドージング導入への期待と提言」
池田敏彦 (三共株式会社薬物動態研究所所長)

16:00～17:00 総合討論

司会 土井 脩
(日本公定書協会専務理事)

* 演題, 講師, 時間等一部変更する場合がありますので, 予めご了承下さい.